

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

UHFオールチャンネル(ch.13～52)対応

地上デジタル放送用平面アンテナ

[ブースター内蔵、水平偏波専用、出力75Ω(F形座)仕様]

オフホワイト

UAD1810

中・弱電界
地域用

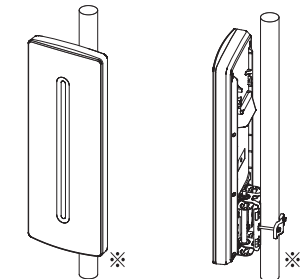
※中・弱電界地域とは…

電波塔から距離が近く、電界強度が60dBμV/m以上の地域のことです。

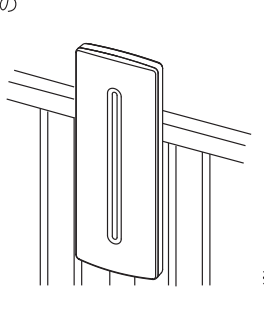
スーパーブラック

UAD1810S

マストや角柱に取り付けるとき
φ22～49mmのマスト、□30～45mmの角柱に取り付ける場合



ベランダに取り付けるとき

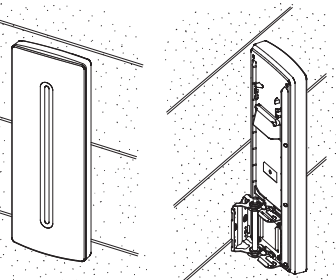


※イラストはマストで代用していますが、角柱の場合も同様にに取り付けてください。

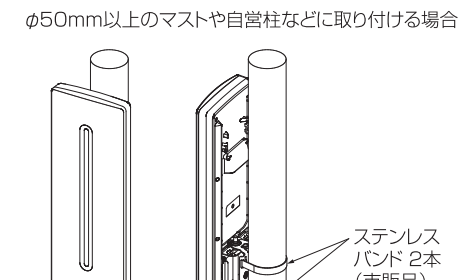
取付に必要なもの
・同軸ケーブル
・ケーブル加工用カッター等
・(+)ドライバー
・落下防止用ひも
●必要に応じて準備するもの
・F形接栓(5Cケーブル用接栓2個付属)
・壁面取付用の木ネジや
コンクリートアンカー
(コンクリート壁面取付時)
・CS/BS-UHF分波器

まず最初に背面の壁面・マスト取付金具を本体からはずしてお使いください

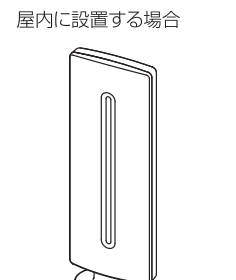
壁面に取り付けるとき



ステンレスバンドで取り付けるとき
φ50mm以上のマストや自営柱などに取り付けする場合



スタンドで使用するとき
屋内に設置する場合



(注)壁面取付時には壁面に穴が開きます。取付前に設置したい場所で地上デジタル放送が全チャンネル受信できることをテレビなどで確認してください。

製品の特長

- 20素子相当の地デジ平面アンテナにブースターを内蔵し、システム性能約60%UP。*
- CS/BS-IFとUHF混合回路を内蔵し、地上デジタル放送とBS-110度CSデジタル放送を1本の同軸ケーブルで伝送できます。
- 出力モニター端子を装備していますので、設置・配線後の方向調整が容易です。
- 新形取付金具の採用で、アンテナ方向調整後は、ボルト1本で固定できます。
- 取付金具は、壁面だけでなくマスト(φ22～49mm)や角柱(30×30mm～45×45mm)、市販のステンレスバンドにも対応した多用途設計で、アンテナの突出をおさえた設置が可能です。
- 水準器を付属していますので壁面金具取り付け時、垂直出しが簡単におこなえます。
- 屋外、屋内のそれぞれの設置に対応しています。(この製品は水平偏波受信専用です。)
- 樹脂ケースで覆われたアンテナ部には直接の積雪がなく、性能劣化が少ない構造です。
- 先端加工不要で抜け落ち防止の防水キャップを採用し、取り付けが容易です。
- 付属の電源部は余裕ある電源容量で、BS-110度CSアンテナにも電源を供給できます。
- 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアした製品です。

※この製品と、ブースター非内蔵タイプのアンテナに10mの同軸ケーブルと外付けブースターを取り付けた場合の性能比較。

DXアンテナ

安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は接触禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 次のような場所には設置しないでください。
 - ＜アンテナ＞ 落ちたり、倒れたり、人や車両に接触して感電やけが、火災、断線の原因となります。
 - ・送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
 - ・人や車両の通行の妨げになる場所 地盤の弱い場所
 - ・強度の弱い場所 不安定な場所、振動、傾いた場所
 - ・煙突の付近や高温になる場所



- ＜電源部＞ 屋内専用です。火災や感電、けがの原因となります。
- ・屋外、風呂場や洗い場など 水などの入った容器の近く
- ・直射日光の当たる場所や調理台、加湿器のそばなど
- ・油煙や湯気が当たるような場所 ぼろりの多い場所
- ・強度の弱い場所 不安定な場所、振動、傾いた場所



- 電源コードと同軸ケーブルなどを破損、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コード、同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご相談ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。



- 電源部の取り扱いについて、次のことに注意してください。火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグを抜き差しするときは、必ずプラグを持ち、ぬれた手でプラグに触れないでください。
- ・電源部の上や周囲にろうそく、灯などが発生しているものを置かないでください。
- ・ケーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。



注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損や、けが、故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。また、電源部の上に乗らないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

保証書

品番

UAD1810 UAD1810S

ご購入・ご店名
電話()

ふりがな
お名前
住所
電話()

お買上月日
年 月 日
保証期間
1 年 間
お買上日から

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことを約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間中でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取り付け場所の移動、転送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、雷火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天災地災、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行状による損傷。指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外觀上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示し、添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または文字を書き換えられた場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター ☎0120-941-542 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>
(受付時間 9:30～17:00 夏季・年末年始休暇は除く) 携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号をご利用にならない場合 03-4530-8079
DXアンテナ株式会社 本社 / 〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (1302)

4726-5

2

アンテナの取付方法

平面アンテナの設置作業を始めるまえに、受信する電波の到来方向を確認し、受信できる設置場所をお選びください。

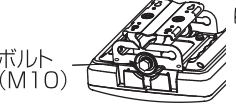
平面アンテナの設置作業を始めるまえに、受信する電波の到来方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。

マスト/角柱取付時、ベランダ取付時は「手順1」へ進んでください。

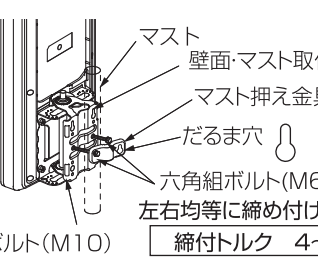
ステンレスバンド取付時や壁面取付時またはスタンドを使用するときは「手順2」へ進んでください。

(手順1) 壁面・マスト取付金具のボルトを締め、マスト押え金具でアンテナを取り付けます。
ベランダ取付時は先にアンテナの角度を調整してください。[5 アンテナの方向調整]参照

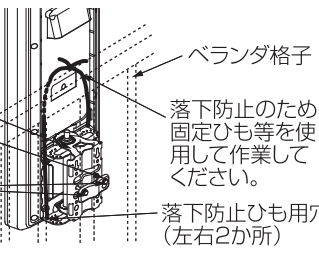
①壁面・マスト取付金具上下のツブツブの嵌合(はめ合わせ)を確認し、底面のボルトを締めます。



〈マスト／角柱に取り付ける場合〉



〈ベランダ格子に取り付ける場合〉



適合マスト/角柱 マスト：直径22～49mm 角柱：30×30mm～45×45mm

「本体へのアンテナケーブルの接続方法」へ進んでください。

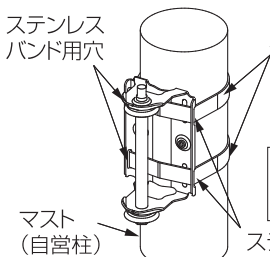
(手順2) アンテナ背面から壁面・マスト取付金具を取りはずします。

- ①ボルトをゆるめ、壁面・マスト取付金具をまっすぐ引きます。
- ②壁面・マスト取付金具をアンテナ取付金具の切り込み方向にずらし、はずします。(取付金具は保管しておいてください。)

ステンレスバンド取付時、壁面取付時は「手順3」へ、スタンドを使用するときは「手順5」へ進んでください。

(手順3) 付属の壁面・マスト取付金具を固定します。「手順4」でアンテナ本体を取り付けます。

〈ステンレスバンドで取り付けの場合〉

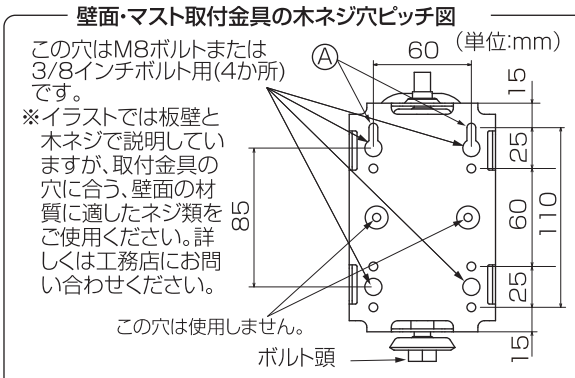


〈壁面に取り付ける場合〉

- ①木ネジ(呼び径4.8～5.1mm)またはタッピンネジ(呼び径5mm)2本を60mm間隔でネジ頭が3mm程度出た状態に取り付けます。
- ②壁面・マスト取付金具(④の穴)を引っ掛けます。
- ③付属の水準器で水平になるよう角度を合わせ、壁面・マスト取付金具を固定します。金具取り付け後は水準器をはずしてください。
- ④壁面・マスト取付金具を上下左右均等に合計8か所、取付ネジで壁面にしっかりと固定します。

「手順4」へ進んでください。

(ご注意) 屋外使用では、設置場所に固定するため、取付時に壁面などに穴が開いたり、ベランダや柱にさすがつきます。アンテナ取付前に設置したい場所で地上デジタル放送が全チャンネル受信できることをテレビなどで確認してください。

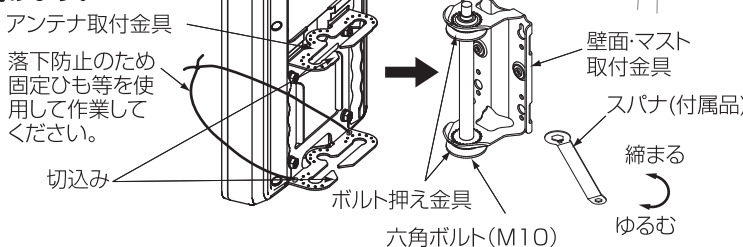


(手順4) 固定した壁面・マスト取付金具にアンテナ本体を取り付けます。

〈アンテナ本体を壁面・マスト取付金具へ取り付ける方法〉

- ①固定した壁面・マスト取付金具とボルト・押え金具の間にアンテナ取付金具の切り込みを合せ、両方の金具が平行になるようにアンテナ取付金具を差し込みます。
- ②六角ボルト(M10)がアンテナ取付金具の穴にはまったところで、ボルトを付属のスナナで仮止めします。

「本体へのアンテナケーブルの接続方法」へ進んでください。

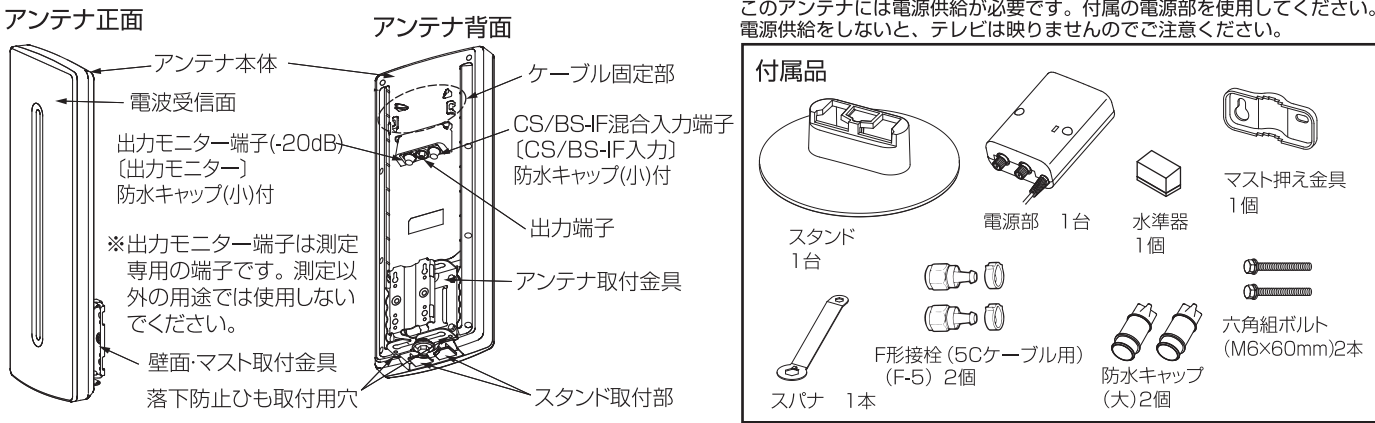


1 お取扱いの前に

組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください

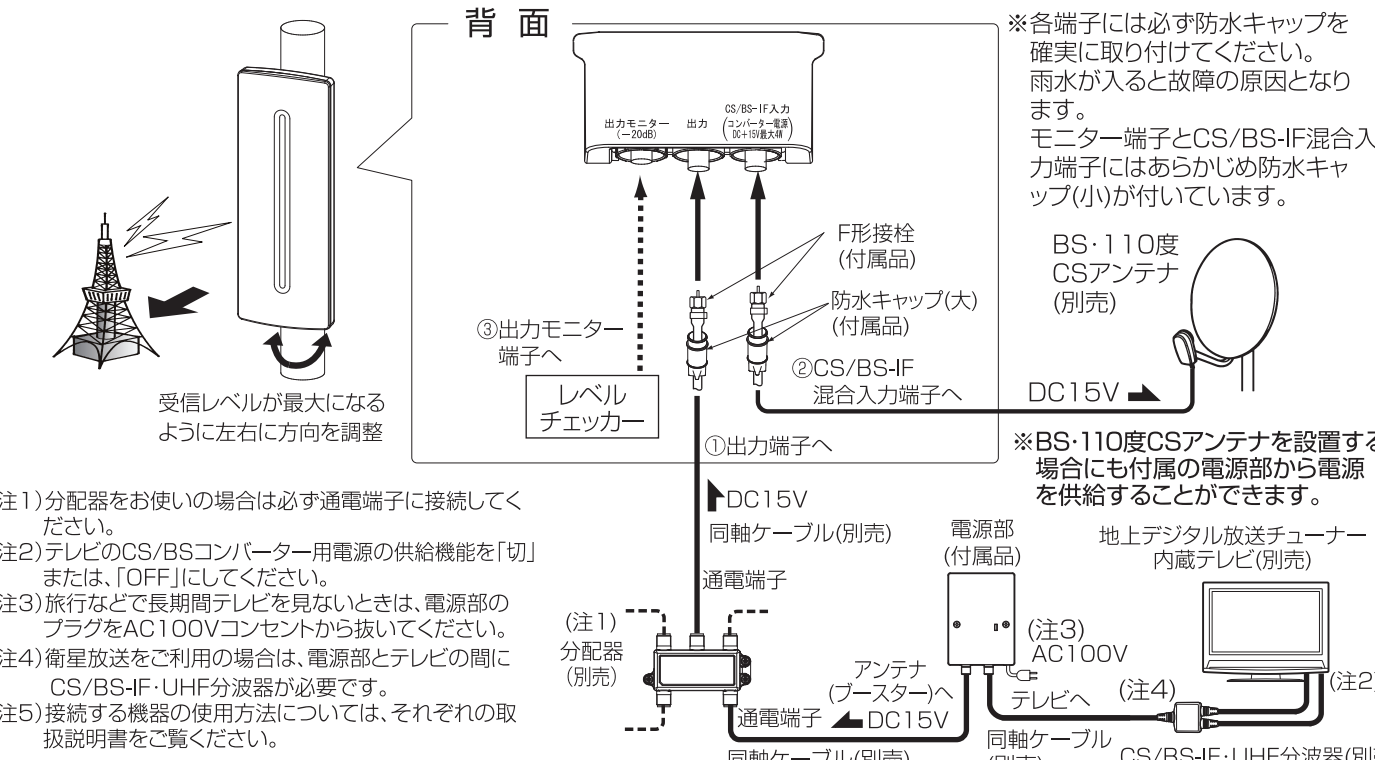
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶついたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 壁面やマスト、ベランダ等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えうるよう指定のトルクがある場合、指定のトルクで固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- 付属の電源部はこの製品専用のため、他の機器には使用しないでください。また、屋内専用のため、屋外では使用しないでください。

各部の名称



使用例

アンテナの設置作業をはじめる前に、受信する電波の到来(電波塔)方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。この製品には必ず電源の供給が必要です。電源部とアンテナの間に分配器等の機器が入る場合はその機器が通電形であることをご確認ください。

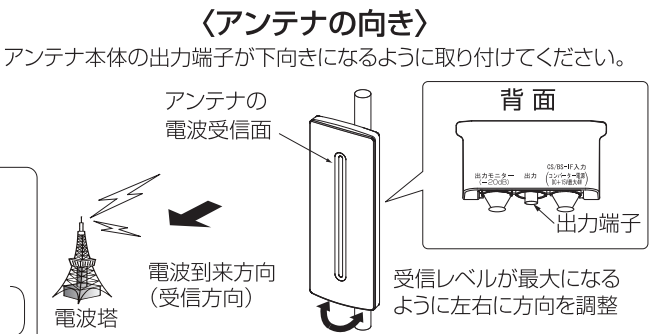


受信偏波とアンテナの取付け向き

- 受信する電波の到来方向(地上デジタル放送の電波塔の位置)と電波が水平偏波か垂直偏波か偏波面を確認します。お買い求めの販売店にお問い合わせください。下記のWebサイトでも確認することができます。
- (注)この製品は水平偏波専用です。垂直偏波は受信できません。

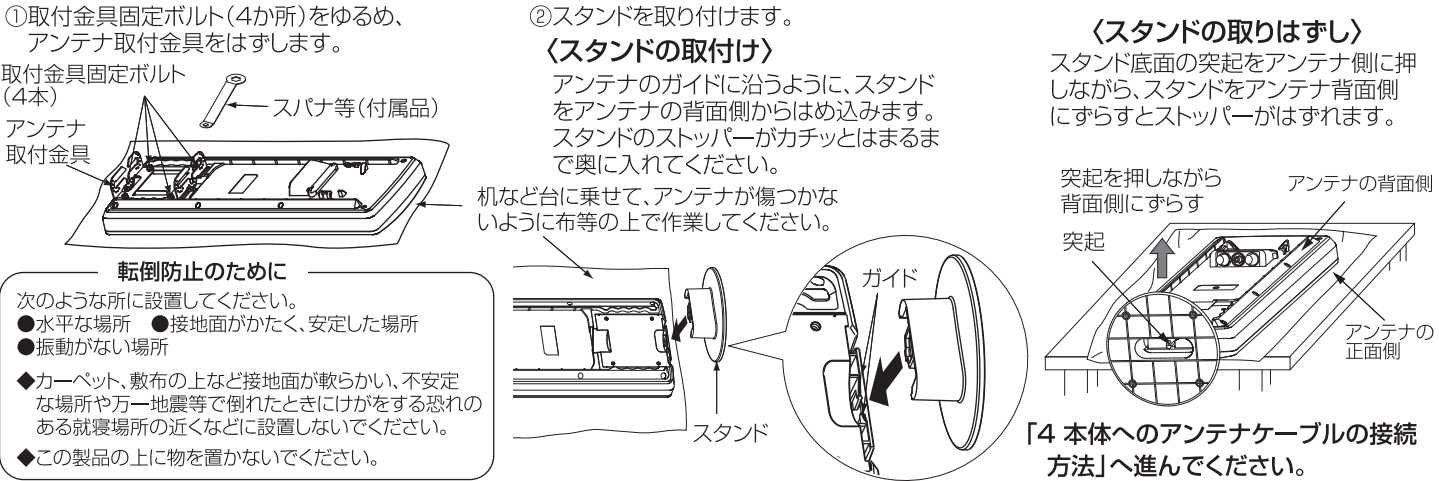
受信電波についてはWebサイトで確認することができます。

- 社団法人 デジタル放送推進協会 [Dpa]のホームページをご覧ください。<http://www.dpa.or.jp/>「地デジの放送エリアのめやす」
- 総務省 各地域の総合通信局のホームページをご覧ください。<http://www.dxantenna.co.jp/>「弊社ホームページ」
- リンク集に「行政・各地方総合通信局」がございます。ご利用ください。



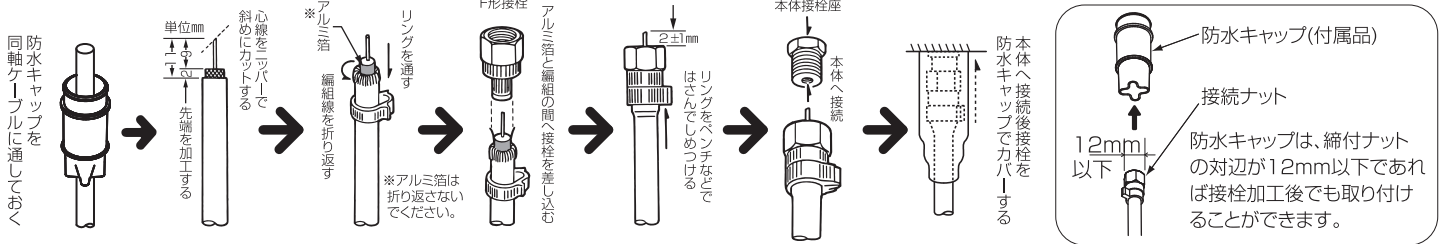
3 アンテナの取付方法のつづき

【手順5】 アンテナ背面からアンテナ取付金具を取りはずし、スタンドを取り付けます。（取付金具は保管しておいてください。）



付属のF形接栓（F-5）へのアンテナケーブルの接続方法

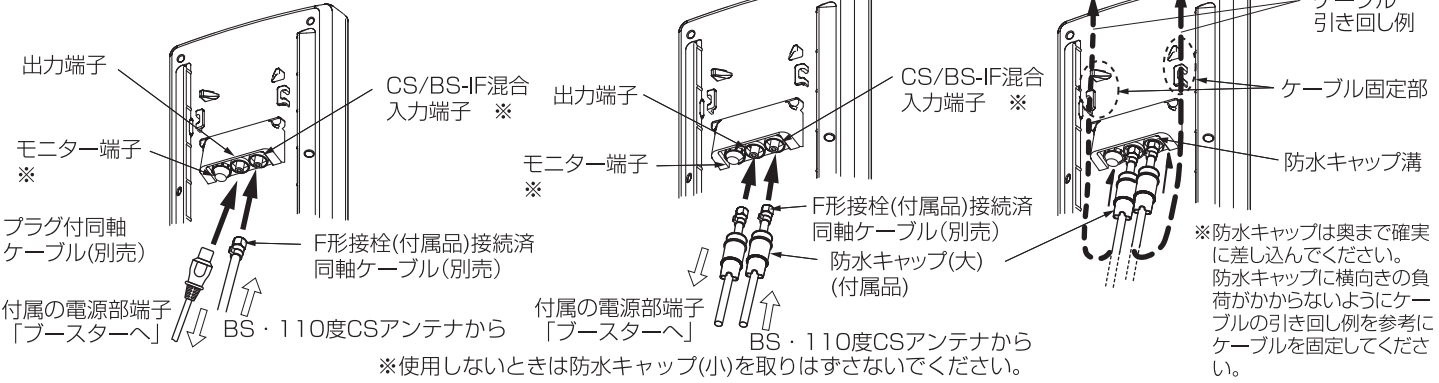
S-5C-FB同軸ケーブルに付属のF-5接栓を取り付ける場合の加工例です。
※付属の防水キャップは、接栓加工後であっても、接続ナットの対辺が12mm以下であれば取り付けることができます。 **接栓締付トルク 1～2N・m**



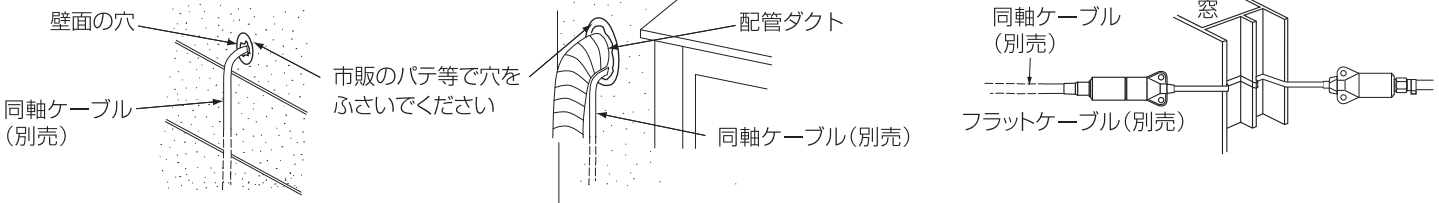
- BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルを使用する場合は、それぞれの同軸ケーブルに適したF形接栓（別売）をご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり、指定された加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。（接栓締付トルク1～2N・m）

本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

- ＜屋内で使用する場合＞
- 屋内では、付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- アンテナ本体に付属のF形接栓を接続した同軸ケーブル（別売）、または別売のF形接栓加工済同軸ケーブルを接続します。
- （注）・接続後は、引っ掛けないように同軸ケーブルの引き回しに注意して配線処理をしてください。
- ・差込式プラグの場合、長期間使用すると自然に抜け落ちることがありますので、時々接続状態を確認してください。
- ＜屋外で使用する場合＞
- 同軸ケーブルは4Cまたは5Cケーブルをご使用ください。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- F形接栓付同軸ケーブルをアンテナの出力端子にしっかりと確実に接続してください。（接栓締付トルク 1～2N・m）
- 防水キャップは溝の奥まで確実に差し込んで、接栓部を雨水などから保護してください。



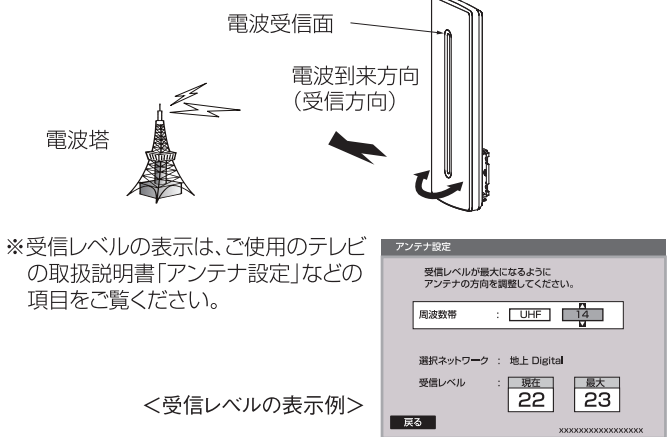
屋内へのケーブルの引込方法



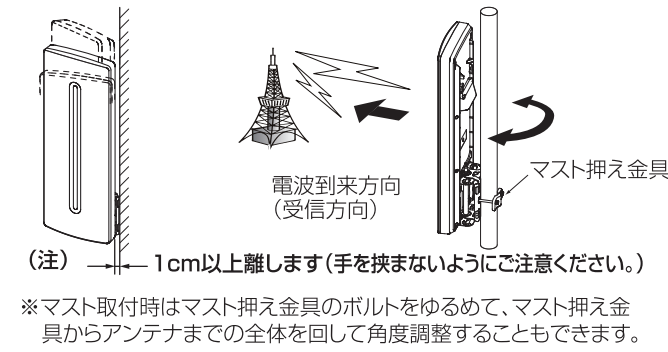
5 アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、実際に電波を受信して行いますので、一度仮にアンテナと地上デジタルチューナー内蔵テレビを接続してください。テレビのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように平面アンテナの方向を調整します。

- ①平面アンテナを左右に動かし、受信レベルが最大になるようにアンテナの角度を調整します。「取付金具の位置図」を参考にしてください。



- ②アンテナ側面が壁面から1cm以上離れていることを確認してください。



- ③取付金具底面のボルトを上下の軸位置がずれていない（ツツブどうしをはめ合う）ことを確認し、しっかりと強固に固定します。

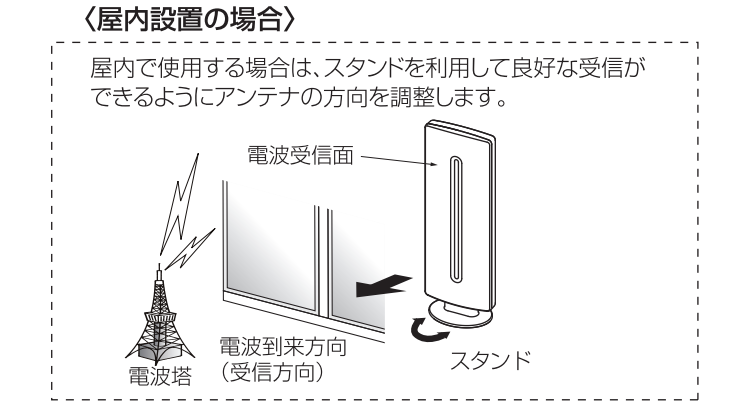
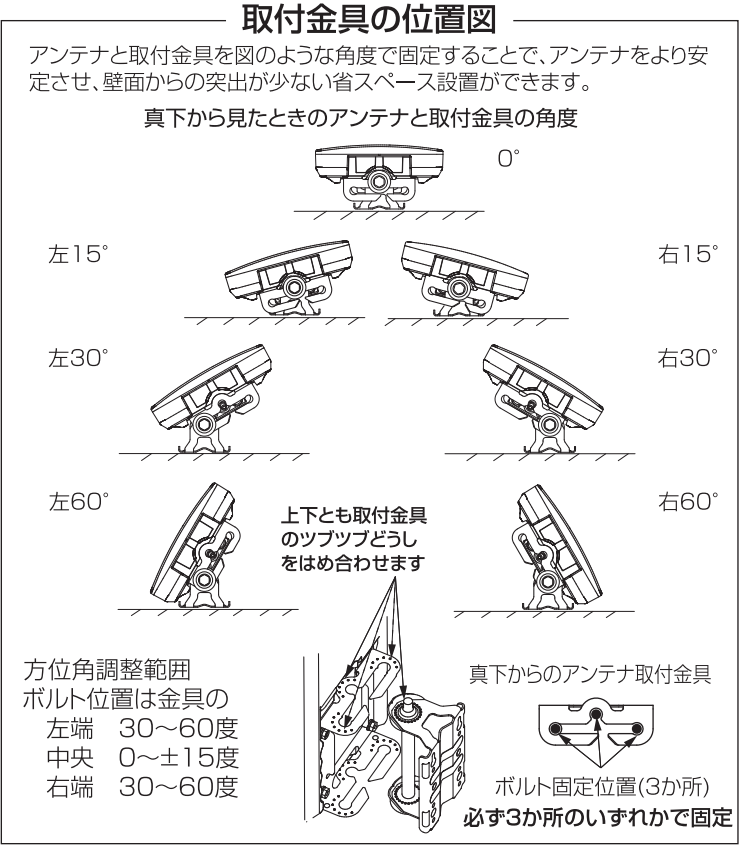


うまく映らないときは

平面アンテナの方向は、実際に電波を受信して、レベルチェッカーまたは地上デジタルチューナー内蔵テレビのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように調整します。レベルチェッカーや地上デジタルチューナー内蔵テレビのアンテナ設定のレベル値に異常がある場合は、次のことをご確認ください。受信レベルは60～90dBμV（モニター値：40～70dBμV）が目安です。アンテナレベルの目安はご使用の地上デジタルチューナー内蔵テレビの取扱説明書をご覧ください。

【レベルチェッカーやテレビのアンテナ設定で、レベルが表示されない場合】

- ◇電源部（付属品）の電源確認用ランプが点灯していますか？
- ◆電源部のプラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- ◆アンテナやテレビへのケーブルを接続後、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み電源をONしても、電源確認用ランプが緑色に点灯しない場合、F形接栓加工不良などによるショートの可能性がありますが。ただちに電源プラグを抜き、接続を確認してください。
- ◇電源部の同軸ケーブル接続は正しいですか？
- ◆アンテナ本体側の同軸ケーブルは「ブースター」に、テレビ側の同軸ケーブルは「テレビ」に接続してください。
- ◇電源部の間に接続されている機器は通電仕様ですか？ または電源部は通電端子に接続されていますか？
- ◆通電仕様の機器に変更する、または通電端子に接続してください。



4 電源部の設置とアンテナケーブル（別売）の接続方法

このアンテナには電源供給が必要です。付属の電源部を使用してください。
注：電源供給をしないと、テレビは映りませんのでご注意ください。

＜電源部の板壁への取付＞

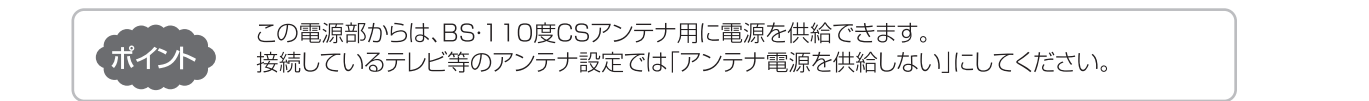
- 電源部を柱または板壁に取り付けることができます。ネジ穴の中のネジをプラスドライバーで締め付け固定してください。

＜電源部と同軸ケーブルの接続＞

- 同軸ケーブルでアンテナと電源部の「ブースターへ」、テレビと電源部の「テレビへ」を接続してください。（ブースターはアンテナに内蔵しています）
- 電源プラグをAC100Vコンセントに接続すると電源がONとなり、電源確認用ランプが緑色に点灯します。必ず電源確認用ランプの点灯を確認してください。

＜ご注意＞

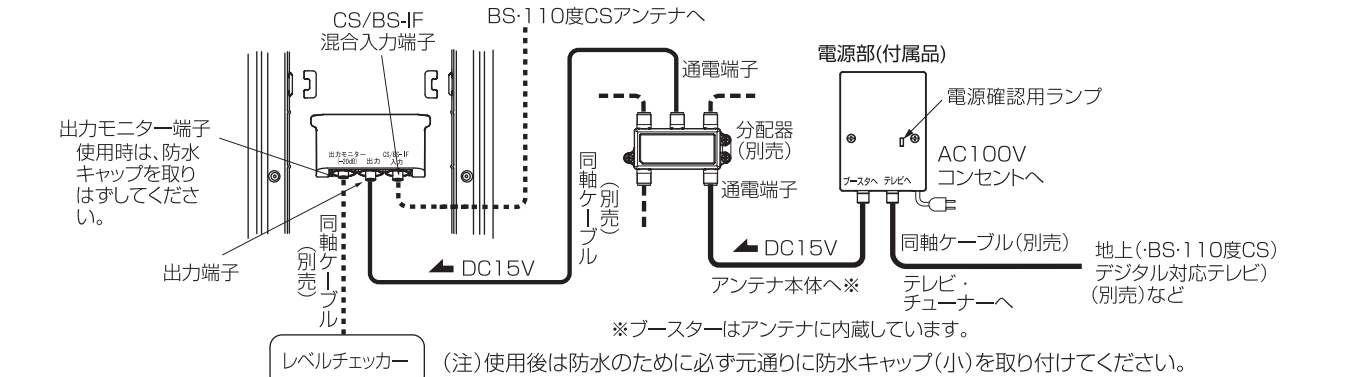
- この電源部には電源スイッチはありません。万一、煙が出るなど異常が生じたら、ただちに電源プラグを抜いてください。
- アンテナやテレビへのケーブルを接続後、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み電源をONしても、電源確認用ランプが緑色に点灯しない場合、F形接栓加工不良などによるショート可能性があります。ただちに電源プラグを抜いてください。
- この電源部は、平面アンテナ専用の屋内仕様の付属品です。この製品以外に使用したり、屋外に設置しないでください。



受信レベルとアンテナ方向の調整方法

平面アンテナの方向は、実際に電波を受信して、レベルチェッカーまたは地上（BS・110度CS）デジタルチューナー内蔵テレビのアンテナ設定等を確認しながら、C/N値や受信レベルが最大になるように調整します。

- ①アンテナの出力端子は同軸ケーブル（別売）で、電源部とテレビなどの入力端子をそれぞれ接続します。アンテナと電源部の間に分配器などを使用する場合は、必ず電源部は使用機器の通電端子に接続してください。このとき、電源部の電源プラグはまだコンセントに差し込まないでください。
- ②BS・110度CSアンテナを設置し混合伝送する場合は、アンテナのCS/BS-IF混合入力端子に同軸ケーブル（別売）で接続してください。
- ③レベルチェッカーを使用する場合は、アンテナ本体の出力モニター端子に接続してください。
- ④接続が完了してから電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み電源ON（電源確認用ランプが緑色点灯）にします。
- ⑤レベルチェッカーを使用する場合は⑥へ、使用しない場合は⑦へ進みます。

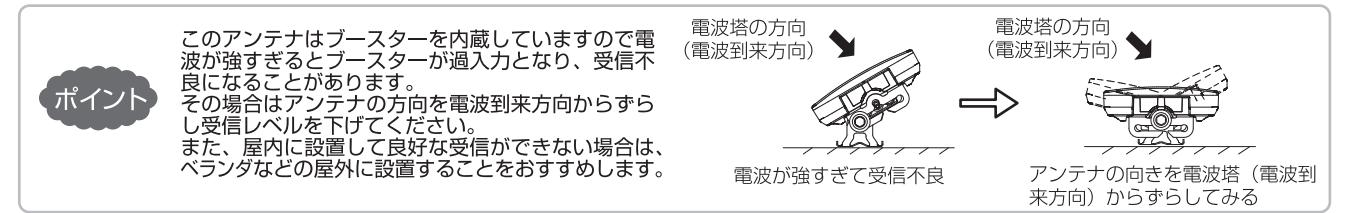


- ⑥レベルチェッカーでC/N値や受信レベルを測定します。C/N値や受信レベルが最大値になるようにアンテナの方向を調整してください。（「F5 アンテナの方向調整」参照）

出力モニター端子は実際の受信レベルより約20dB低い値を出力します。（UHF帯、CS/BS-IF帯）
また、C/N値も実際の値より悪く表示されることがありますが、最大値になるように調整してください。
アンテナの方向調整が終了すると、レベルチェッカーを取りはずし、防水キャップ（小）をしっかりと奥まで取り付けてください。

- ◆出力モニター端子は測定用の端子です。測定以外の用途では使用しないでください。

- ⑦テレビ画面にアンテナ設定等を表示し、アンテナレベルを確認しながら数値が最大となるようにアンテナの方向を調整してください。（「F5 アンテナの方向調整」参照）



【レベルチェッカーやテレビのアンテナ設定でレベルが低い、テレビ画面にブロックノイズが出る場合】

- ◇アンテナと付属の電源部を接続する同軸ケーブルは、アンテナ本体の出力端子側に接続されていますか？（間違えてモニター端子側に接続されていませんか？）
- ◆アンテナと電源部とを接続する同軸ケーブルは、アンテナ背面の「出力」に接続してください。
- ◇電波到来方向にアンテナが向いていますか？
- ◆ご購入店でお住まい地域の電波塔を問い合せるなど電波到来方向を確認してください。近隣の建物等に反射した電波を受信できることもあります。新たな建築物等で電波状況が変化することがあります。
- ◇電波到来方向に障害物がありませんか？
- ◆障害物のない状態で受信してください。障害物を避けられない場合でも、アンテナの高さを50cm～1mくらい変化させると改善することがあります。アンテナの設置位置を変化させてみてください。
- ◇電波が弱い
- ◆電波が弱すぎる場合は受信できません。

【レベルが高いのにC/N値が悪いまたは受信状態が悪い、受信できない場合】

- ◇電波が強い
- ◆アンテナの向きを電波到来方向からずらしてください。「受信レベルとアンテナ方向の調整方法」のポイントを参照してください。

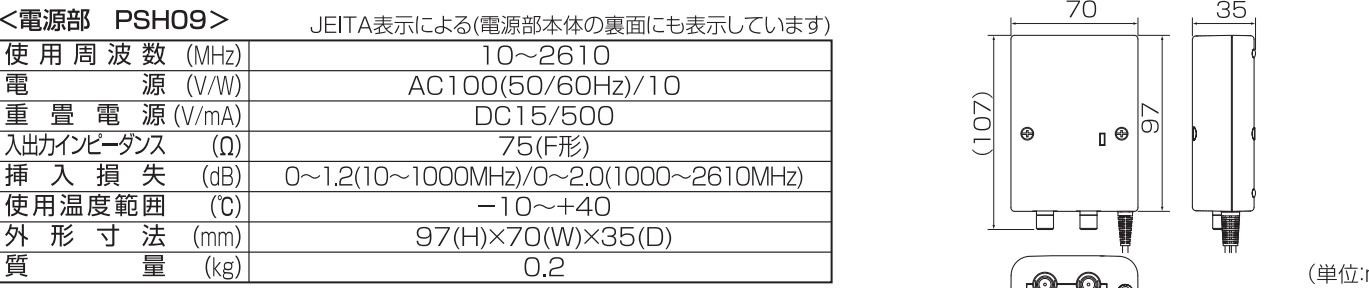
使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないか、または時々ブロックノイズがでるなど、不安定な受信状態になることがあります。
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスリナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- 付属品の電源部を他の製品に使用したり、他の製品の電源部をこの製品に使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れなどは、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わず、柔らかな布で軽く拭き取ってください。樹脂が溶けたり、変形したり、塗装が剥げたり、変質することがあります。
- アンテナを塗装したり、シールなどを貼らないでください。樹脂が劣化したり、受信不良の原因となります。

規格特性

品名	UHF平面アンテナ
品番	UAD1810、UAD1810S
受信周波数 (MHz)	470～710 (ch.13～52)
偏波面	水平
インピーダンス (Ω)	75 (F形)
標準利得 (dB)	アンテナ部: 7.8～9.7、総合: 25～33
最大出力 (dBμV)	90
ブースター増倍数 (dB)	1.2
V S W R	3.0以下
前後比 (dB)	10以上
半値幅 (°)	84以下
耐風速 (m/s)	45 (注1)
適合マスト径 (mm)	マスト: φ22～49、角柱: 30×30～45×45 ステンレスパイプ (市販品) 使用時: φ50以上
方位角調整範囲 (°)	±60 (壁面取付時) DC15/30
電源 (V/mA)	610 (H)×225 (W)×113 (D) (壁面取付時: 取付金具含む) 652 (H)×225 (W)×200 (D) (スタンド使用時)
寸法 (mm)	
質量 (kg)	1.8 (アンテナ部)、0.8 (取付金具)

(注1) 耐風速は破壊風速です。



規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。
※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。